

# 進路だより

箕輪進修高校 進路指導室  
2011.4.25  
No. 8

## 日本学生支援機構奨学金案内



進学をしたいが経済的理由により進学をどうしようか迷っている人には様々な奨学金制度が用意されています。最も一般的で、進学者の多くが利用しているものは独立行政法人の日本学生支援機構のもので、その他にも新聞奨学生、各学校独自のもの、各地方自治体のもの等様々なものがあります。細かくは各自で調べてみてください。こうしたものを利用すると、親の負担をかなり軽減し、進学をあきらめないで済む可能性があります。

今回は日本学生支援機構の奨学金制度について概要を説明しましょう。この申込は高校在学中と、進学後に申し込む2つの方法があります。また無利息の第一種と年利3%を上限とする利息付(在学中は無利息)の第二種があります。第一種は成績等の審査基準が満たされないと認可されません。

第二種は利息が付きますが、家庭の所得基準(4人家族・給与所得者:年間1142万円以下)を満たせば採用の可能性が高いでしょう。後で返さなくてはいけないと思うかもしれませんが、最長16年間という長い期間で返すために、仮に月5万円を4年間借りたとしても返却時は月1.6万円程度を返すためにそれほどの負担には感じないでしょう。

月々借りる額も3、5、8、12万円の中から自分で選択できます。もしこれを希望する者は、高校在学中であれば第一次5/10、二次10月頃、三次1月頃が申し込み〆切です。一種の申込は第一次のみです。希望者は、英語科の小澤先生に申し出てください。まだ具体的進路が決まらなくても申し込みが可能です。専門学校や大学等へ進学した後、来年の4月になり各進学先で申し込むことも出来ますが、可能ならば高校在学中に申し込み、認可されれば安心かと思えます。



● 日本学生支援機構の奨学金		貸与月額による返還例	
予約採用・4年制大学の場合			
第一種奨学金(無利息)	学力基準	高校1年～申し込み時までの成績の平均値が3.5以上	
	家計基準(4人家族の目安)	給与所得者は収入916万円以下、それ以外は所得430万円以下	
	貸与月額	国公立の自宅通学は3万円、4万5000円から選択 国公立の自宅外通学は3万円、5万1000円から選択 私立の自宅通学は3万円、5万4000円から選択 私立の自宅外通学は3万円、6万4000円から選択	
第二種奨学金(利息付)	学力基準	高校の成績が平均水準以上や、特定の分野で特に優れた資質能力があると認められるなど	
	家計基準(4人家族の目安)	給与所得者は収入1254万円以下、それ以外は所得719万円以下	
	貸与月額	3万円、5万円、8万円、10万円、12万円から選択。 12万円を選択した場合、私大医学・歯学・薬学・獣医学課程は増額が可能	
第一種奨学金	月6万4000円を4年間借りた場合(私立大学・自宅外通学のケース)	$6万4000円 \times 48ヵ月 = 貸与総額$ <b>307万2000円</b>	[返還例] $月1万4222円 \times 216ヵ月(18年)$ 返還総額 <b>307万2000円</b>
第二種奨学金	月5万円を4年間借りた場合	$5万円 \times 48ヵ月 = 貸与総額$ <b>240万円</b>	[返還例] $月1万6769円 \times 180ヵ月(15年)$ 返還総額 <b>301万8568円</b>
第二種奨学金	月8万円を4年間借りた場合	$8万円 \times 48ヵ月 = 貸与総額$ <b>384万円</b>	[返還例] $月2万1531円 \times 240ヵ月(20年)$ 返還総額 <b>516万7586円</b>